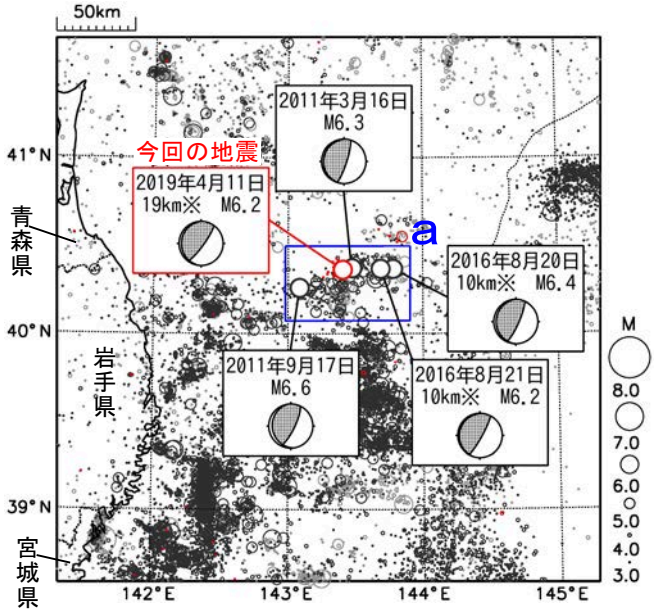
４月 11 日　三陸沖の地震

震央分布図
（1997年10月１日～2019年４月30日、
深さ０～100km、M≧3.0）
2011年３月10日以前に発生した地震を○、
2011年３月11日以降に発生した地震を○、
2019年４月に発生した地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解

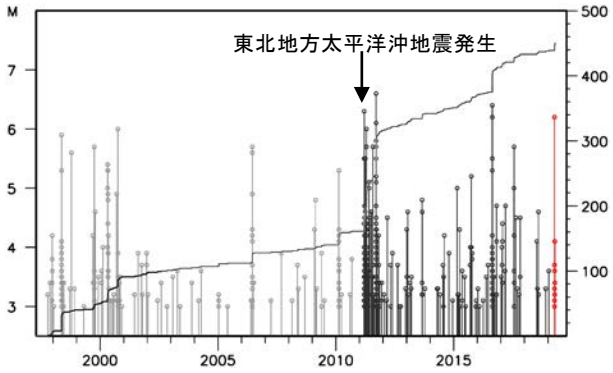


※深さはCMT解による。

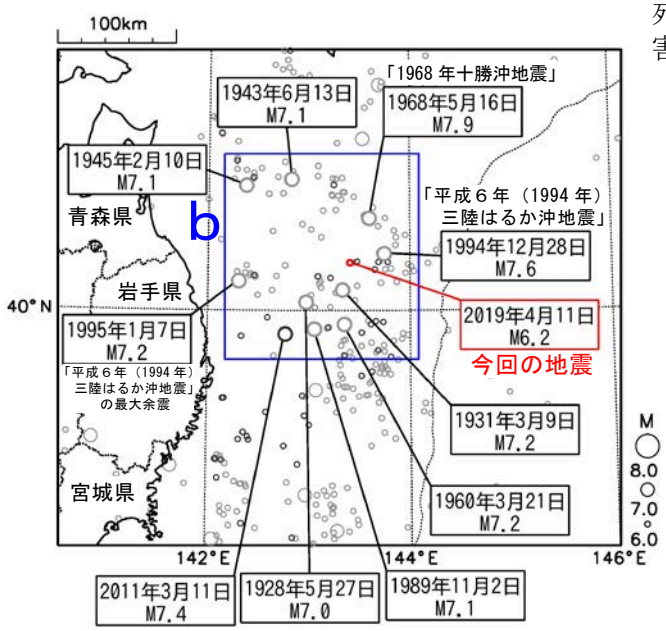
2019年４月11日17時18分に三陸沖の深さ19km（CMT解による）でM6.2の地震（最大震度３）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

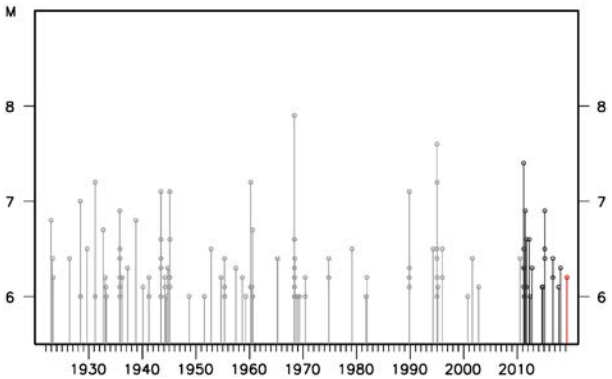
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ａ）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以降、東北地方太平洋沖地震）の発生以降、M6.0以上の地震がしばしば発生している。

領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



震央分布図
（1922年１月１日～2019年４月30日、
深さ０～100km、M≧6.0）
2011年３月10日以前に発生した地震を○、
2011年３月11日以降に発生した地震を○、
2019年４月に発生した地震を○で表示



1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｂ）では、M7.0を超える地震が時々発生している。「1968年十勝沖地震」（M7.9、最大震度５）では、青森県八戸で238cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。この地震により、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた（「日本地震被害総覧」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図